



ご挨拶

京二中鳥羽高校同窓会会長 佐々木 克佳



昨年十一月より第十二代会長に就任いたしました鳥羽高校二期生の佐々木克佳と申します。四期八年間に亘り会長の

大役を果たされた山内健也前会長の後任として、歴史と伝統ある母校の同窓会長を引き受けすることとなりました。

京二中鳥羽高校同窓会は、京二中の先輩方によって設立・運営され、平成二十四年から鳥羽高校卒業生が会長に就任し、鳥羽高校卒業生が中心となり運営する体制を順次整え、同窓会総会・懇親会と卒業三十周年の同窓会を併催するなど、活性化に努めて参りました。これら山内前会長が進めて来られました同窓会の改革、活性化を引き継ぎ、更に改革・発展をさせていく所存でございます。

偉大なる京二中の諸先輩の意思を受け継いで、そしてこの大切な歴史と伝統を後輩の皆さんにお渡し出来るように努力していく所存です。

どうか、京二中の先輩方、後輩の皆様、教職員の皆様のお力をお貸し頂けますようお願い申し上げます。

卒業生のみなさんへ

京二中鳥羽高校同窓会副会長 奈佐 和也



この度は御卒業おめでとうございます。新たに同窓会の一員となる皆様を、歓迎いたします。

私は現在、京都を離れ関東に在住しておりますが、関東では京都二中・鳥羽高校卒業生による「関東・京二中鳥羽同窓会」をささやかながら運営しております。現在、主だった活動としては毎年十一月に関東同窓会としての集まりを開催しております。昨年は京二中・鳥羽高校卒業生あわせて十四名の方にご参加頂きました。毎年、このくらいの小規模な開催ではありませんが、細く長く、卒業生同士の絆を深める大事な場として今後も継続していく予定です。私自身、見知らぬ土地で生活を送るようになると、同窓会をはじめとする「人の縁」というものの大切さを痛感しております。そんな中、京二中鳥羽同窓会という「縁」のお陰で、心強い思いをしたことが何度もあります。進学・就職等で関東へ移住される方も少なからず、いらっしやるかと存じます。ご興味のある方は是非、御一報下さい。

「会員相互の友誼を深め、母校の発展に貢献する」(規約第二条)「ついでにと

京二中鳥羽高校同窓会顧問 山内 健也



鳥羽高校職員の皆様、ならびに、京二中鳥羽高校同窓会会員の皆様におかれましては、平素より、同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

先ず、昨年の総会において、会長を次の方へ引き継ぐことができましたこと、大変ありがたく、嬉しく思っております。在任中には多くのお力添えをいただき、お陰様で、京二中から鳥羽高へ、同窓会を引き継ぐ役目を果たすことができました。これまでご協力くださいました皆様には、篤くお礼申し上げます。

さて、同窓会に関わらせていただいて以来八年の間に、初めて知ることが沢山ありました。京二中OBの方々からは、当時の色々な出来事、色々な母校への思いを、お聞かせいただきました。野中広務先生、荒巻領一先生からは、鳥羽高開校三十年の席で、開校までの経緯をお伺いすることができました。藤田雅之先生が纏めてくださいました、『京二中鳥羽高ものがたり』からは、私が在任中に知りえなかった、母校の歴史を知ることができました。これら私が見聞させていただいた事柄については、折に触れ、改めてお話しさせていただくこともあるかと思っております。

そしてもう一点、学校の教育活動は、教職員、PTA、同窓会が支え合って行われていることです。同窓会では、鳥羽高開校以来、京二中OB会員が強力に支援を行ってこられました。それが今、「京都府母校応援ふるさと事業」制度ができ、同窓会個人からの支援が可能になり、これまでの支援の在り方に、変化がもたらされていきます。

これから、新会長の下、鳥羽高卒業生が本格的に同窓会を運営する時期を迎えるにあたり、学校と同窓会、会員相互の関係を、今に合った形で構築、展開していく時が来ています。しかし、その基本にあることは、鳥羽高校を縁に繋がる一人一人が、広く相互に交流を持つ場が、母校貢献の前にあるということに、変わりはありません。

新会長の発想と行動力にご期待申し上げますと共に、今後の同窓会の取り組みの中で、私のこれまでの経験が、お役に立てる場面があれば、出来る限りお手伝いさせていただきます。

最後に、今年から同窓会の一員となられる皆さん、高校ご卒業、同窓会へご入会、おめでとうございます。皆さんのこれからの成長とご活躍をお祈りいたします。そして同窓会での幅広い人のつながりが、皆さんの将来にとって、有意義なものとなりますよう願います。

今年の卒業生からのメッセージ

洲崎 健人さん (京都市立洛北中学校出身)



私は3年間、ウエイトリフティング部に所属していました。辛い時もありましたが、仲間と顧問の先生に支えていただいてインターハイに出場することができました。勉強面でも、担任の先生や各教科担当の先生方に助けていただきました。これからは自分が周りの人を支えていくように努力していきます。

橋本 周典さん (京田辺市立大住中学校出身)



私は勉強と部活動の両立に、この3年間励んできました。練習と自ら創意工夫する主体性、我慢強く取り組む忍耐力。部活動で培ったこの2つの力を受験勉強で大いに発揮できました。部活動顧問の先生方、教科、担任の先生方、私を励まし支えてくださった全ての人への感謝を胸に、これから日々成長していきたいと思いをします。

畚野 亜美さん (京都市立小栗栖中学校)



私が鳥羽高校で過ごした3年間はかけがえの無いものになりました。本当の友達というものに出会えた気がします。私が勉強から逃げた時に怒ってくれたり、相談事があれば自分のことのように聞いてくれたりと友達には助けられました。これからたくさんのお会いがあるので、次は私が人の役に立てる人間になりたいです。

森田 祥一郎さん (京都市立音羽中学校出身)



私は日々の学校生活の中で人との関わり大切さ、自分の言動の責任の重さなどを学びました。常に高め合ってきた級友のことは生涯忘れません。私たちが鳥羽高校の卒業生であるという誇りと未熟な私たちに幾度となく手をさしのべてくださった先生方への感謝を胸に新たな世界へと飛び立ちたいと思いをします。



関東同窓会での語り合いに想う



京二中鳥羽高校同窓会顧問
京都府立鳥羽高等学校校長 山 塾 茂彦
年に一度、秋が深まった頃に関東同窓会が開かれます。顔ぶれは、京二中の卒業生数名と鳥羽高校一期生が中心で、二十名前後の集まりです。

恒例の近況報告では、齢五十を迎えた一期生が、高校卒業からの自分の足跡や各方面で活躍しつつ今向き合っていることなどが語られました。京二中の卒業生からは、人生の大先輩として、暖かい指南の言葉が送られ、両校のきづなを実感する瞬間でした。

話題は、一期生だけが知りうる特別な思い出にも及びました。みんなで石を拾って整備したグラウンド、保護者の協力を得て作ったトレーニング用のパーベル、京都国体会場として使用された五十メートルの公認プールの完成、西体育館開き、校歌発表会など、すべてが貴重な体験だった、と。鳥羽高校の卒業生が一萬二千人を超えていることへの感慨に加えて、在校生への心のこもったエールもいただきました。

京二中の思い出にも、鳥羽高校の思い出にも、絶えずあるのは、時代の風と九条通りから正門へと続く道、その向こうにそびえている重厚かつモダンで洗練されたれんが造りの校舎です。明治三十三年来、幾多の若者の成長を見続けたこの場だからこそ、できる教育がある、そして育つ人間性がある。これこそが、時の重みと場の持つ大きな力なのだと思感した次第です。教職員も、協働して教育にあられたことを喜び、卒業生一人一人の社会でのますますの御活躍と明日に幸あらんことを願っています。

最後になりましたが、同窓の皆様、そして旧教職員の方々、平素から本校の教育活動に御理解・御協力いただきと共に、御支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。今後とも会員の皆様が一層友誼を深められ、母校発展に向けてお力添えいただきますことをお願いいたします。挨拶とさせていただきます。

京二中鳥羽高校同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は、京二中鳥羽高校同窓会と称し、その本部を京都府立鳥羽高等学校内に置く。

第二条 本会は、会員相互の友誼を深め、母校の発展に貢献することを目的とする。

第二章 会員

第三条 本会は、下記の会員をもつて構成する。

一 正会員

※京都府立京都第二中学校卒業生

※京都府立鳥羽高等学校全日制卒業生

※両校に在学した者で、会員の紹介により理事会が入会を承認した者

二 特別会員

両校現旧教職員、または理事会の推薦する者

第四条 会員は、住所、氏名、その他名簿記載事項に変更のあった場合は、本会に通知しなければならない。

第三章 役員

第五条 本会に下記の役員を置き、任期は各二年とし、重任をさまたげないものとする。

一 名誉会長

会員の中から理事会の議を経て会長が推挙する。

二 会長

正会員の中から一名を理事が推挙し総会で選出する。

三 副会長

両校ごとの正会員の中から若干名を会長が指名する。

四 理事

両校ごとの正会員及び特別会員の中から若干名を、また、ほかに母校の現職員の特別会員の中から幹事会の推薦によって会長が委嘱する。

五 幹事

正会員の中から原則として卒業年度ごとに二名を選出する。

六 監事

正会員の中から二名を会長が指名する。

七 顧問

母校現職校長を推し、また、会員の中から会長が推挙する。

第六条 役員の仕事は次のとおりとする。

一 名誉会長及び顧問は、会務運営について必要な助言を与える。

二 会長は、本会を代表し会務を統括する。また、総会、理事会、幹事会を招集してその議長となる。

三 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は代行する。

四 理事は、理事会に出席して会務を協議、執行する。理事のうち、会長の指名する若干名で本会の庶務会計に関する日常事務を担当する。

五 幹事は、その卒業年度の会員の連絡に当り、また、幹事会に出席し、理事会の決議に基づき会務を担当する。

六 監事は、会計に関する事項を監査する。

第四章 事業

第七条 本会は、その目的を達成するために、下記の事業を行う。

一 総会

毎年、京都市において開催する。

なお、必要のある場合、随時、臨時総会を開く。

二 理事会、幹事会

必要に応じて開く。

三 理事会において適切と認められる事業。

第五章 会計

第八条 本会の経費は、会費、寄付金、事業収益金、財産収益金、その他をもつてこれにあてる。

第九条 正会員は、卒業時に終身会費を納入する。その額は理事会において定める。

第十条 総会及び各種集会に要する経費は、そのつとこれを定め、原則として出席者から徴収する。

第十一条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

第十二条 会計及び事業報告は、総会においてこれを行う。

第六章 支部

第十三条 会員の多数存在する地方に本会支部を設けることができる。

支部の設置及びその規約は、理事会の承認を得なければならない。

第十四条 支部は、その代表者より支部会員の名簿、役員を指名し、常に本部との連絡を保たなければならない。

第七章 規約の変更

第十五条 規約は、理事会の決議によってこれを変更することができるが、次の総会において、その承認を得なければならない。

附則

一 昭和六十一年度卒業の正会員の終身会費は、三〇〇〇円とする。

二 本規約は、昭和六十二年四月一日から実施する。

三 本規約は、平成二十七年十一月三日の一部改正する。

四 平成二十八年卒業以降の正会員の終身会費は、四〇〇〇円とする。



令和元年度 京二中鳥羽高校同窓会 役員名簿

役職	期	氏名	役職	期	氏名
名誉会長	京二中49	内田 昌一	理事	京二中47	向井 博一
顧問	校長	山埜 茂彦	理事	京二中48	那須 信孝
顧問	鳥羽1	山内 健也	理事	鳥羽4	藤澤 正則
会長	鳥羽2	佐々木 克佳	理事	鳥羽5	小川 能弘
副会長	京二中45	國井 和扶	理事	鳥羽15	市川 靖久
副会長	鳥羽1	奈佐 和也	理事	事務長	村田 純子
副会長	鳥羽3	乾 明紀	理事	鳥羽1	藤田 雅伊
副会長	鳥羽5	岩佐 隆	監事	鳥羽3	谷内

令和元年度卒業生 同窓会幹事紹介

1組	阪本 滯音	◎橋野 翔真
2組	大山 侑作	橋本 周典
3組	中桐菜都美	林 由宇人
4組	田中 実結	野村 亮太
5組	堤 葵	◎森 沙耶香
6組	大久保拓真	森田祥一郎
7組	中村 未来	畚野 亜美
8組	荻野 紗瑛	洲崎 健人

(◎は、学年代表幹事)

活躍する卒業生 香川 颯太さん

ボートレーサー (32期生)

私は現在全国各地のレース場でプロのボートレーサーとして働いています。あまり聞き慣れない職業だと思いますが、ボートレース業界は売上金の約25%を地方自治体の予算に組み入れ、公共施設の費用や地方公共団体を通じて地域での活動を支援しています。

ボートレーサーになるためには、ボートレーサー養成所に1年間入り訓練をしなければなりません。養成所での訓練を乗り越えられたのも高校時代に先生方の厳しいご指導があったからだとありがたく感じます。鳥羽高校を卒業される皆さんならボートレーサーになる素質はきっとあるはずです。少しでも興味が出てきたなら、是非レース場に行って自分の目で確かめてください。



同窓会総会・懇親会のご案内

令和2年度同窓会総会・懇親会を11月に京都市内で開催予定です。令和2年度は鳥羽高校第5期生が卒業30周年を迎えます。また、同窓会では若い卒業生のみなさんの力を必要としています。お誘い合わせの上、多数の御参加をお待ちしています。

令和元年度同窓会総会・同窓会の報告

第33回京二中鳥羽高校同窓会総会・懇親会を令和元年11月9日(土)に「御所西 京都平安ホテル」で開催しました。今年は、卒業して30年目の節目となる鳥羽高校第4期生から多くの参加をいただきました。懇親会では、鳥羽高校放送部の協力により作成した「京二中鳥羽高ものがたり」のDVD上映、参加者による在校当時の思い出のスピーチなどを行いました。懐かしい旧友と再会しお互いに連絡先を交換する姿や、学年や世代を超えた新しい出会いがありました。楽しい時間もあったという間に過ぎ、最後には、恒例となっている京二中と鳥羽高校の校歌の大合唱、記念撮影で締めくくりました。



短い時間ではありましたが大いに盛り上がり、これからも同窓生という繋がりを大切にしていきたいと感じた総会・懇親会となりました。

『京二中鳥羽高ものがたり』

(京二中創立115周年記念)



発売中!

頒価 1,000円

【お申込先】(株)昭英社
TEL.075-351-1811 (代)
京二中鳥羽高校同窓会

近代教育界に燦然と輝く「京二中」。明治の草創と大正の隆盛など、その歴史を原資料によって一冊の本にまとめました。

関東でも

京二中鳥羽同窓会

関東京二中鳥羽同窓会の御紹介

京二中、鳥羽高校の卒業生は、関東でも強い絆で結ばれていて、毎年秋に東京で同窓会を開催しています。

昨年は11月23日(土)に東京駅近くの「イタリアンパルキムラヤ八重洲」に集まり、近況報告を行うなど、会員相互の連携をさらに深め、楽しい時間を過ごしました。その時の模様は「関東京二中鳥羽同窓会」のホームページに掲載しています。是非ご覧ください。



【連絡先】 <http://kntk2toba.blog135.fc2.com/> [✉ knt.k2c.toba@gmail.com](mailto:knt.k2c.toba@gmail.com)

同窓会は鳥羽高校に
こんな支援をしています

- 全国・世界大会等出場生徒に対する激励金
- 生徒海外研修等の教育活動支援
- 卒業生への記念品
- 記念行事の際に学校と共催で実施 など

京二中鳥羽高校同窓会 (京都市立鳥羽高等学校内)

〒601-8449 京都市南区西九条大国町1

TEL:075-672-6788 FAX:075-691-7448

URL <http://www.kyo2toba-dosokai.jp> (右)